

家保通信

Vol. 38 No. 8 11月号
東京都家畜保健衛生所

令和6年10月24日

かほクイズ

令和5年度シーズンに野鳥で鳥インフルエンザ陽性が確認されたのは何事例？

- ①23事例
- ②57事例
- ③156事例

答えは裏面

鳥インフルエンザシーズン突入！

10月17日に北海道厚真町の養鶏場（約1.9万羽）で、10月23日に千葉県香取市の養鶏場（約3.8万羽）で高病原性鳥インフルエンザが発生しました（今シーズン1,2例目）。9月30日には乙部町で回収されたハヤブサから、10月8日には別海町で回収されたカモ類の糞便から高病原性鳥インフルエンザが検出されています。鳥インフルエンザウイルスは既に環境中に広く侵入していると考えられます。鶏飼養者の皆様は10月号でご紹介したポイント「**防鳥ネットの修繕、飼養衛生管理区域専用の衣服・靴の設置、手指消毒**」を中心に、**飼養衛生管理基準の再確認**をお願いします。また、**家畜に異状を認めた際には速やかに当所へご連絡ください。**



特定家畜伝染病防疫演習を開催しました

10月9日に、特定家畜伝染病防疫演習を開催しました。この演習は都内農場で鳥インフルエンザが発生した場合を想定し、毎年実施しているものです。当所の職員が中心となって、国や都の関係機関が参加し、防護服の正しい着脱や鶏の殺処分、消毒の演習を行いました。また、豚熱が発生した場合の対応についても説明を行いました。当所では今後も家畜伝染病のまん延防止に努めてまいります。



(雨天のため、室内で開催)

秋の家畜ふれあいデーに参加しました！

10月19日に、農林水産振興財団青梅庁舎にて開催された秋の家畜ふれあいデーに参加しました。今回は農林水産省動物検疫所との共同出展となりました。家畜保健衛生所からは業務紹介やペット操作、顕微鏡観察の体験コーナー、細菌培養培地や寄生虫標本の展示を行いました。





ネズミ対策を実施しましょう！

ネズミはサルモネラなどの感染症を媒介するほか、飼料の食害、配線への咬害など、様々な被害をもたらします。主に畜舎でよくみられるのは、クマネズミとドブネズミです。以下の表に見分け方を記載します。近年はクマネズミが増加しており、警戒心が強いため完全な防除は難しいですが、別添の資料を参考に、できることから対策を実施しましょう。

畜舎でよくみられるネズミの見分け方

	クマネズミ	ドブネズミ
頭胴長	15～24cm	20～26cm
特徴	・耳が大きい ・尾が頭胴長（下段写真参照）より <u>長い</u>	・耳が小さい ・尾が頭胴長より <u>短い</u>
行動	梁や柱を移動し <u>立体的</u> に行動する ※高所移動が見られればクマネズミと思われる	地面を走り回り <u>平面的</u> に行動する
営巣場所	天井、壁の隙間、梁、放置された資材等	地面に穴を掘って営巣することが多い
妊娠期間	21日	21日
寿命	約2年	約2年
性格	警戒心が強い	警戒心があまり強くなく攻撃的
写真		

写真：東京都保健医療局HP「都民のためのねずみ防除読本」



鶏病抗体調査のお知らせ

11月～1月に、鶏を概ね100羽以上飼養している方を対象に、鶏病抗体調査を実施します。対象の方には通知をお送りしますので、ご協力をお願いします。

クイズの答え：③156事例

令和5年度シーズンは家きんで11事例、野鳥で156事例の鳥インフルエンザ発生が確認されました。家きんでは、平成16年1月に78年ぶりに発生し、以降2～3年に1度の発生がありましたが、ここ4シーズンは毎年各地で発生が確認されています。飼養衛生管理の徹底をお願いします。

発行日 令和6年10月24日

編集発行 東京都家畜保健衛生所

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/animal/kaho/>

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町
大字平井2759

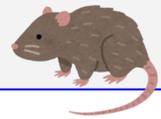
TEL :042-588-7171

携帯：090-6941-4315(緊急用)





ネズミの対策を実施しましょう！



ラットサイン（ネズミの痕跡）の見つけ方

畜舎（特に四隅や壁沿い）を点検し、ネズミの通り道や侵入口を見つけましょう。



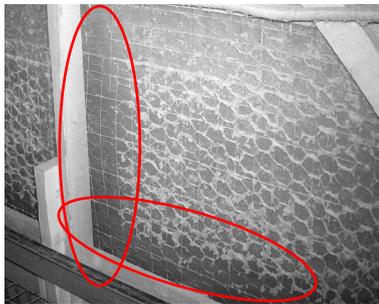
①ネズミの糞

配合飼料機の上蓋にある多数のネズミの糞

左：ドブネズミの糞 右：クマネズミの糞
※写真はほぼ実寸大



⇔ 1cm



②ネズミのこすり跡

ネズミの通り道だけホコリがたまっていない

③ネズミのかじり跡

ネズミがかじり、畜舎天井に空いた穴



ネズミが生息しにくい畜舎環境づくり

ネズミを一時的に減らしても、畜舎環境が改善されていなければすぐに元通りになります。**畜舎環境の改善が最優先**です。

①畜舎への侵入防止

- ・畜舎周囲の雑草や資材を除去する。
- ・ネズミの出入口となる、ドア周りの隙間、換気扇、壁や天井の穴、配管の隙間などを、金網やスチールウール、モルタル等で塞ぐ。



床と壁の間にすき間ができ、侵入口となっている箇所



亀甲金網による防そ修繕

※金網の網目は1.5cm以下を推奨。破れが無いよう定期的に補修する。

②営巣場所の除去

- ・不要な資材は廃棄し、常に整理整頓する。
- ・羽毛、紙袋、ビニール、鶏糞など、巣材になりそうなものは廃棄する。
- ・巣を見つけたら除去する。



換気扇に作られたネズミの巣

※ネズミの妊娠期間から、少なくとも20日おきに清掃を実施すると効果的

③餌の除去

- ・こぼれた餌は清掃する。
- ・未使用時は給餌器に蓋をする。



ネズミの駆除

①殺鼠剤の使用

○殺鼠剤の特徴

- ・慢性毒剤（有効成分：ワルファリン、プロマジオロンなど）

複数回の摂取が必要。摂取してから数日後に死亡するため、警戒されにくい。

※急性毒剤（有効成分：リン化亜鉛など）は即効性があるが、嗜好性が悪く警戒されやすい。



○設置時の注意点

- ・まずネズミの好む餌だけ（例：カナリアシード、食パン、飼料など）を5日間程度設置し、喫食が確認された場所に殺鼠剤を設置する。食パンの場合は、ネズミが食べやすい大きさまで細かくする。
- ・殺鼠剤に、上記のネズミの好む餌を半分程度混ぜると喫食が良くなる。
- ・ラットサインのあるところや、廃鶏後の餌どいに設置する。
- ・1か所に約100g、1000㎡あたり50～100か所を目安に設置する。
- ・殺鼠剤は全畜舎に設置する。未設置畜舎があると、そこからネズミが移動してきてしまう。
- ・ネズミは隠れた場所で餌を食べるのを好むため、ベイトボックスを利用して設置するのが望ましい。
- ・無くなっていれば補充し、喫食がみられなくなるまで設置を続ける。
- ・1週間程度設置しても喫食がみられない場合、設置場所や混ぜる餌を変更する。



カナリアシード



ネズミが通る穴

殺鼠剤を置く場所

工具箱を活用した自作のベイトボックスの例

～作成ポイント～

- ☑ネズミが通れるように左右に穴を開ける
- ☑ベイトボックス内に、殺鼠剤を置くための仕切りを設ける（工具箱内の仕切りを削って活用）

②粘着シートの使用

- ・ネズミがよく通る通路や、畜舎の四隅に複数枚設置する。
- ・規則正しく並べる方法と、ランダムに並べる方法がある。



規則正しく並べたところ

ランダムに並べたところ

どちらかを選択し、配置は頻繁に変えないこと（最低3日間に変えない）。

ネズミをゼロにすることは難しいですが、継続して対策し、少ない数を保つことが重要です。また、死体の数を記録しておくこと、生息数の増減が把握できます。できることから取り組んでみましょう。

写真引用：東京都保健医療局HP「都民のためのねずみ防除読本」「東京都ねずみ防除指針」
農林水産省HP「令和3年度 鳥インフルエンザに関する情報について」